

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2009.4.5 No. 40 連絡先 042-555-1911



航空自衛隊航空総隊司令部等の移転にともなう2009年度予算と3年間の合計

	2007年度	2008年度	2009年度	3年間の計
総隊司令部庁舎等 地上3階地下2階	143億円	47億円	122億円	312億円
移駐にともなう既存米軍施設の移設		22億円	47億円	69億円
移駐にともなう公務員宿舍整備		28億円	19億円	47億円
通信機器購入費等、装備品等		39億円	21億円	60億円
計	143億円	136億円	209億円	488億円

*上記の金額はすべて約です。(ミニ情報No. 23 の 2009 年度の数字は概算額でした。)

*既存米軍施設の移設 2008 年度…下士官教育施設、託児所、宿泊施設の整地工事等。

2009 年度…宿泊施設、高級幹部外来宿舍等。

残土搬出等について

これまでの搬出台数は、約 26,000 台。(2008 年 7 月 29 日から 2009 年 1 月末まで)

搬出日数は 119 日で、一日平均約 218 台。搬出期間は、2008 年 7 月 29 日～2009 年 5 月末。

横田基地で行われた訓練結果等について

I 日米共同演習(指揮所演習)結果について

演習目的:我が国防衛のための日米共同対処及び周辺事態等各種の事態に際しての自衛隊の対応と日米の協力について演習し、共同統合運用能力の維持・向上をはかる。

日時:2009年1月15日(木)～1月27日(火)

実施場所:自衛隊 市ヶ谷駐屯地、在日米軍横田基地等 :在日米軍 在日米軍横田基地等

演習参加部隊:自衛隊 統合幕僚監部、陸・海・空の各幕僚監部、各方面隊、自衛艦隊、航空支援集団、情報本部 約 1,300 名 :米軍 在日米軍司令部、陸・海・空・海兵隊 約 485 名

統裁官:自衛隊 統合幕僚長 :米軍 在日米軍司令官

II 戦闘対処即応演習及び緊急管理演習

日時:2009年2月4日(水)～2月6日(金) 時間は不明。4日は早朝から軍人の招集が始まる。

演習結果:演習内容は、横田基地がミサイルや迫撃砲、航空機による攻撃があった場合を想定した対応訓練と実際に基地内で事故が起きたことを想定した訓練。第374空輸航空団の軍属など約2000人が参加。

(以上は、福生市議会横田基地対策特別委員会の資料を参考に作成。)

朝霞駐屯地での射撃演習が例年と比較して倍加

練馬平和委員会・坂本氏より。「陸上自衛隊朝霞駐屯地での屋外実弾射撃は、昨年12月24日から3月10日まで18回で実弾数3万5150発に達する。屋内射場ではほぼ365日実弾演習が実施されている。」「(写真)朝霞訓練場のパトリオットミサイル。丘の上の03式中距離地対空誘導弾(335高射部隊)やレーダーも回り続けていた。」(写真3/28)



米軍再編 横田基地関連予算 3年間で488億円、進行状況はどうなっているの？

07年度から09年度の3年間で488億円の税金を注ぎ込もうとしています、進行状況は？

【総隊司令部庁舎等 地上3階地下2階 312億円】

航空総隊司令部棟は地下部分を掘削（100 m×104 m、深さ 20 m）します。掘削残土を日の出町や青梅市の処分場に搬出する作業が現在行われています。終了は5月末の予定です。

航空総隊司令部棟の外に、防空指揮群庁舎、通信局舎、講堂等や隊舎、外来宿舎、隊員クラブ等が建設予定ですが、規模などは全く明らかにされていません。

【移駐にともなう既存米軍施設の移設 69億円】

約1,600㎡の下士官教育施設や約 2,500 ㎡の託児所と附帯設備、高級幹部外来宿舎及び宿泊施設の整地工事(面積不明)が日米合同委員会で承認されたので、これらの工事は始まるでしょう。

【移駐にともなう公務員宿舎整備 47億円】

これは自衛隊の宿舎で、武蔵村山市学園 2-36-1 に、家族世帯向 213 戸、単身者向 42 戸、合計 255 戸を建設予定です。敷地面積は 21,000 ㎡で、国有地の武蔵野第 1 住宅用地（財務省から防衛省へ所管換予定）の住宅の一部を解体して、新たに宿舎を建設する予定です。土地代はいらぬのに、高いんじゃないの、との声が上がっています。着工は、現在のところ未定です。

【通信機器購入費等、装備品等 60億円】

内容については、全く分かっていません。

* 2010年9月末（予定）まで工事は続くので、2010年度の予算も組まれるでしょう。

米軍再編経費 厚木基地から岩国基地へのF/A-18等の移駐は地元の負担軽減か？

ロードマップ「厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機の移駐」の主な内容は次の通りです。

- 第5空母航空団の厚木飛行場から岩国飛行場への移駐は、F/A-18、EA-6B、E-2C及びC-2航空機から構成され、(1) 必要な施設が完成し、(2) 訓練空域及び岩国レーダー進入管制空域の調整が行われた後、2014年までに完了する。
- 厚木飛行場から行われる継続的な米軍の運用の所要を考慮しつつ、厚木飛行場において、海上自衛隊EP-3、OP-3、UP-3飛行隊等の岩国飛行場からの移駐を受け入れるための必要な施設が整備される。
- KC-130飛行隊は、司令部、整備支援施設及び家族支援施設とともに、岩国飛行場を拠点とする。航空機は、訓練及び運用のため、海上自衛隊鹿屋基地及びグアムに定期的にローテーションで展開する。KC-130航空機の展開を支援するため、鹿屋基地において必要な施設が整備される。
- 海兵隊CH-53Dヘリは、第3海兵機動展開部隊の要員が沖縄からグアムに移転する際に、岩国飛行場からグアムに移転する。

※「厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機の移駐」には 2009 年度までの 3 年間で 259 億円が使われます。厚木基地には「継続的な米軍の運用の所要を考慮」して、EP-3、OP-3、UP-3 飛行隊等が岩国基地より移駐し、必要な施設も整備します。地元負担は減りません。

岩国住民投票では「米軍機受け入れNO！」が多数でしたが、岩国基地には、すさまじい爆音の F/A-18 (写真)はじめ、EA-6B、E-2C 及び C-2 などが移駐します。「これ以上の爆音はいらぬ」と爆音被害に苦しむ住民 478 人が3月23日、「岩国爆音訴訟」を起こしました。

岩国基地は、海上の滑走路建設等に莫大な「思いやり予算」を使いましたが、米軍再編でも税金投入です。



(平和新聞読者、会員の皆様へ。横田基地の撤去を求める西多摩の会から下記の訴えが届きました。)

横田基地の撤去を求める“すわりこみ”行動をはじめます！

＝横田基地の撤去を求める西多摩の会からの訴え＝

私たち横田基地の撤去を求める西多摩の会は、昨年8月に発足して以来、毎月の駅頭宣伝行動・防衛省への要請行動・福生市長への申し入れ・広く呼びかけた学習会の開催などに取り組んできました。しかし、今、もっと多くの人々が基地問題に注目し、その重要性を理解し、いっしょに考え行動していけるような、思い切った取り組みが求められているのではないかと考えました。

みなさん、横田基地では、09年度予算まで含め3年間で488億円にも達する巨費が投じられて、米軍再編に関わっての航空自衛隊航空総隊司令部の移転のための大工事が、着々と進められています。これが完成すると、既に活動している「日米共同統合運用調整所」に加えて、米第13空軍と航空自衛隊が、ミサイル防衛に関して調整を行う「日米航空作戦調整所」が機能し始めることになります。

米第13空軍(ケニー司令部)は、米政権が先制攻撃作戦を実行するために立ち上げた新しい戦闘部隊です。こうした部隊と自衛隊が、米軍基地内で直結してミサイル防衛にあたるようになることは、基地機能を数段強化するものであり、許し難いものです。

ところで今日、世界は、アメリカという戦争国家を抱えてはいますが、確実に戦争のない平和の共同体づくりの方向へ前進しています。米軍基地のある国で、「外国の軍事基地を置くことを禁ずる」という条項を持つ憲法を制定する国が続いて出現したり、アメリカの基地の撤去を国会で決議する国が生まれたり、大きな変化がつけられています。

こうした現実を直視するなら、日米軍事同盟の強化が、いかに時代の流れに反する危険なものかは明らかです。また、50周年を迎えた砂川裁判の伊達判決でも明らかにされたように、米軍の存在自体が、憲法九条に違反する存在であることも明確です。

みなさん、こうしたとき、沖縄を先頭に、基地の強化に反対し、返還を求めて取り組んでいる全ての仲間にも強く連帯し、ここ「横田」でも、私たちにできることを始めようと考えました。具体的には、基地に出向き、基地に向かって、米軍に向かってものを言い、基地の撤去を正面から要求する行動を始めることです。

そして、この行動は私たち「西多摩の会」が取り組むことはもちろんですが、志を同じくする多くのみなさんにも広くお知らせし、一緒に取り組んでいくことが大切ではないかと相談し、この訴えを発信させて頂くことにしました。

以下の要綱で実施いたしますので、可能な時に、自由に参加し、激励して下さることをお願いするものです。どうかよろしくお祈りします。

記

- 一、名称 第一回横田基地の撤去を求める**すわりこみ**行動
- 二、日時 **4月19日** (日) 午後1時30分～3時30分
- 三、場所 横田基地と国道16号に面した福生市の児童公園
フレンドシップパーク・・・地図を参照してください
- 四、主催者 横田基地の撤去を求める西多摩の会
世話人代表 松山 清 042-552-2045
*みなさんの参加をお待ちしています。
連絡先 FAX 0428-31-6175「会」事務局 霍田(つるた)

